

5月の植物の育て方

✿ 肥料をしっかり施す

- 5月は温度や日照などの条件が、多くの鉢花にとって**1年で最もよく、生育が非常に盛んになります。**
- 肥料を十分に施して株を充実させることが、立派な花を咲かせるためだけでなく、**暑い夏に対する抵抗力**をつけさせるためにも重要です。

✿ 液体肥料について

- 生育状態に応じて水やり代わりに施すことができます。しかし、**肥料の三大要素であるチッ素、リン酸、カリ**のなかでリン酸の割合が高い液体肥料が多いので、植物の初期生育を促すチッ素が不足しがちになります。
- 液体肥料とあわせて、チッ素、リン酸、カリを等分に含んだ**緩効性化成肥料**を置き肥として施すとよいでしょう。

✿ 用土の乾燥に注意

- 晴天が続き、雨量も多くないので病害虫はあまり発生しませんが、日差しが強くなっているため、**用土が非常に乾きやすくなります。**
- 水切れを起こしてしおれた鉢花を見つけたら、すぐに水をたっぷり与えますが、**日なたで直射日光を当てたまま株全体に水をかけると、花が傷んだり、葉が焼けたりすることがあります。**
- **直射日光の当たらない場所へ移動させてから、水を与えるようにしてください。**

